1　学校教育目標

（1）　名古屋市の教育目標

ともに学び　自分らしく生きる

○　主体的・対話的で深い学びの実現を目指して、一人ひとりの興味・関心や能力、進度に応じた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。

○　子どもが、自他のよさに気づき、互いを尊重しながら自分らしく生きることができるようにするために、安心・安全で幸せな居場所となる学校づくりを推進する。

（2）　本校の教育目標

豊かな心と健康な体をもつとともに、望ましい社会人として必要な資質と実践力のあるたくましい人間の育成を図る。

生徒目標…協力・責任・尊敬

2　本年度学校教育の努力点とその推進計画

（1）　本校努力点

なかまとともに主体的に学びを深める生徒の育成
～学びに向かう力を高め、人間力を磨く～

学びに向かう力：　新たな課題を見つけ、解決の糸口に迫る
人間力：　社会を構成し運営するとともに、自立した人間として力強く生きていくための総合的な力

なかまとともに学ぶ活動…　互いのよさを認め合い、互いに励まし合いながら、基礎的・基本的な内容の定着を図る。なかまと協力しながら進んで学習に取り組み、身に付けた知識や技能を生かして課題の解決に生かす。

学びを深める活動　…　互いのよさを認め合い、互いに励まし合いながら、自分が何を学び、何に生かすのかを明確にする。そして、学んだことを実生活に生かすことで学びをより深める。

（2）　努力点設定の理由

平成30年度より３年間「なかまとともに主体的に学びを深める生徒の育成　～基礎・基本の定着と豊かな心の育成を通して～」を目指し、教育活動を推進してきた。その結果、「基礎・基本の定着」では、身に付けた学習内容を生かして、与えられた課題を解決しようとする生徒や、学習に対して意欲的な態度で取り組む生徒が年々増え、互いのよさを認め合い、励まし合いながら、学習を進めていくこともできてきた。また、「豊かな心の育成」では、道徳教育や行事、学校生活、ボランティア活動等の様々な場面において、生徒たちの仲間への接し方や、物事への考え方等からも、豊かな心が多くの生徒たちに育まれてきた。しかし、与えられた課題を解決することや、現状の力に満足してしまい、自ら新たな課題を見つけ、解決の糸口に迫ろうとするといった、更なる高みを目指せずにいる生徒も見られる。加えて、多面的・多角的な見方・考え方ができず、１つの考え方に固執してしまい、自分自身の力を十分に発揮することができなかったり、力を高められなかったりする場面がある。

そこで、「なかまとともに主体的に学びを深める生徒の育成」を学校努力点推進テーマに、なかまと学び合う活動を通じて、「学びに向かう力を高め、人間力を磨く」態度を育むことを目指している。特別の教科道徳を含む各教科・総合的な学習の時間・行事・生徒会活動等、学校教育活動のあらゆる場面で、学習したことを深められる機会を設定し、仲間とより深く関わり、互いのよさを認め合い、互いに励まし合いながら活動することで、主体的に学びを深められる生徒を育てていきたい。

（３） 実践の場

○ なかまとともに学ぶ活動 ～学びに向かう力を高める～

◇ 心身を整える。	◇ 授業をよりよくする。	◇ 学習の機会を充実する。
☆ SSTの実施	☆ 「分かる授業」の実現	☆ 朝の読書・朝の学習
☆ 学校生活アンケートの実施と活用	☆ 言語活動の充実	☆ 専門の講師を招いての講演会
	☆ 少人数・ＴＴ支援指導	

☆ SST（ソーシャルスキルトレーニング）の実施

・ 本校スクールカウンセラー及びなごや子ども応援委員会と連携してSSTを実施し、自分を大切にしながら、誰に対しても円滑な関係を築けるようにする。

☆ 「学校生活アンケート」の実施と活用

・ 学校の生活の基本となる学級内での心身の状況を把握して、よりよい学習環境を整えられるように支援、指導する。

☆ 「分かる授業」の実現

・ 各教科・領域の目標・評価について十分に検討し、本校の教育課程編成を進める。
・ 「なかまなビジョン」に基づき、授業時間に達成すべき目標を職員・生徒が共通理解した上で授業を実践する。そして、授業ごとに生徒が自身の目標について振り返り、次時の学びにつなげていくことを重点とする。
・ 生徒が目標をもち、授業に集中して取り組むとともに、生徒が互いに教え合ったり、学び合ったりする基盤となる「授業規律の確立」を目指す。
・ 生徒が基礎的な知識や技能の習得と活用に向けて、目標をもって取り組めるような教材の開発やICT機器の活用等、指導法を工夫して、「分かる授業」を実践する。
・ 生徒一人一人の状況に応じて、学習したことを補充したり、発展させたりする場面を設定し、より進んで活動できるように工夫する。
・ 授業において体験的活動を重視し、諸感覚(視覚・聴覚・嗅覚等)に訴える導入を工夫し、生徒の興味・関心を高め、基礎・基本の定着に結び付ける。

☆ 言語活動の充実

・ 基礎的・基本的な知識や技能を活用して自らの考えをもち、様々な場面で発表する機会を設定する。発表することで課題が共有され、解決につながっていくことを学ばせるとともに、自分の意見や考えを伝えることで充実感を得られることを実感させられるよう工夫する。
・ 各教科や総合的な学習の時間等で、自分の意見を表す、仲間と教え合うといった活動を通して、互いのよさに気付き認め合い、互いを励まし高め合い、より良い集団作りに貢献できる生徒を育てることができるように工夫する。

☆ TT指導

・ TT指導において一人一人の生徒の状況に目を向け、その場で個に応じた支援を行う。本年度も引き続き、情操面の育成を重点として取り組む。

☆ 朝の読書・朝の学習

・ 学習する雰囲気や教科学習の基礎・基本をより定着させるために、毎朝10分程度の時間、年間を通して主体的に取り組むことができるよう位置づける。

○　学びを深める活動　～人間力を磨く～

◇　学びを日常生活に生かす。 ☆　道徳教育の充実 ☆　生き方と進路　　☆　行事	◇　社会生活をよりよくする。 ☆　生徒会・委員会活動

☆　道徳教育の充実(令和４年度より継続して重点)

・　授業では、教科書だけでなく、「明るい人生」を活用した実践に取り組む。上の「生き方と進路」、「行事」、「生徒会活動」を以下のように関連づける。各教科等の道徳教育にかかわる指導内容について、別葉を活用して関連付け、よりよい授業を展開できるようして、道徳教育の充実を図る。

①　教員が担任をしている学級だけでなく、学年の各学級で授業を行ったり、講師を招いて道徳教育を行ったりすることで、より専門的で深い学びとなるように学習内容を工夫する。

１年：ｿｰｼｬﾙｽｷﾙﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ(SST)　［相互理解、寛容］
　　制服着こなしセミナー［礼儀］
２年：スマホ安全指導教室　［節度、節制］
　　いじめ防止講演会　　［相互理解、寛容］
　　思春期セミナー　　［命の大切さ］
３年：薬物乱用防止教室　　［節度、節制］
　　租税教室　　［勤労］

②　自己肯定感を高められるように、仲間との関わりの中から自己の役割を見出しながら、活動できるように工夫する。

③　各講演会や行事のねらい、生徒の活動に応じて、各学習を振り返ったり、想起したりできるように、ICT機器や教材や資料を整備して、学校生活に即した形で、自身と仲間を大切にする心を育成できるように工夫する。

☆　生き方と進路

・　３年間を見通して、自分の適性や働くことの意義を考えさせていく中で、自分に合った進路を自ら選択する力を養わせる。また、これらの取り組みの中で、あいさつ等社会の基本的なマナーについて学習する。

１年 職場訪問	市内事業所を訪れ、見学したり、働いている人にインタビューしたりして、職業についての意識を高める。あいさつや時間を守る等、社会で求められるマナーについて学ぶ。
２年 職場体験	学区周辺の事業所で２日間職場体験することで、働くことの苦労や喜びを味わい、自らの進路について考えを深める。
３年 学校訪問	県内の公・私立学校、専修・各種学校を訪れ、見学したり説明を聞いたりして上級学校についての理解を広げる。
修学旅行	将来の生き方を見据えて、都内分散学習の行き先を決定して体験し、生き方について考える視野を広げる。

☆　行事

・　豊かな心を育めるように、次の各行事を年間計画に位置づける。

校外学習（６月）	友達のよさを認め合う。
環境学習（６月）	自分たちにできる環境作りについて考える。
体育大会応援（９月） 大縄跳び	生徒が一丸となって一つのことを成し遂げる充実感を味わう。
音楽会(10月)	仲間と団結し創り上げ、表現する喜びを味わう。
卒業を祝う会（３月）	卒業生に対する感謝と敬意の気持ちを表す。

☆　生徒会・委員会活動

・　次の活動を通して環境や資源に対する意識を高め、より良い学校を作り、地域に役立とうとする気持ちを育てる。

アルミ缶 ・紙パック回収	活動を通じて環境美化意識を高めると共に、収益金で車いすを購入し、地域の福祉施設に寄付する。
地域清掃ボランティア	地域美化に取り組むことで、地域貢献について考える。
校内美化活動	ボランティア清掃活動により、学校をきれいにする。
ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙｷｬｯﾌﾟ回収	集めたｷｬｯﾌﾟは、ﾜｸﾁﾝに換えｱｼﾞｱ諸国に寄贈する。
校内緑化運動	校内の花壇に草花を育てて、豊かな心の一助とする。
学校生活向上活動	いじめ防止を含め学校生活向上に向けた活動をする。

◎　開かれた学校づくり

保護者や地域の人に、本校の活動について理解してもらうため、次のような機会を設定する。

☆　行事の一般開放

・　作品展を開催し、多くの人に生徒の作品や課題まとめなどを見てもらえるようにする。

☆　小学校６年生への学校説明会

・　「丘中を知ろう」では、学区の２つの小学校６年生を本校に招き、本校生徒との交流、及び両小学校児童同士の交流を図る。また、生徒による学校説明会を行い、中学校に対する理解を深められるようにする。

☆　小学校の保護者を対象とした学校説明会

・　学区内の小学校の保護者に学校説明会及びランチ試食会を開催し、中学校の教育方針や生徒の様子等を知らせ、理解を深められるようにする。

☆　学校からの情報発信

・　HPの随時更新

・　携帯サイトの随時更新

☆　学校評価

①　自己評価

・　教育活動の企画、運営の状況についての自己評価を行う。

・　保護者によるアンケート調査を行う。

②　関係者評価

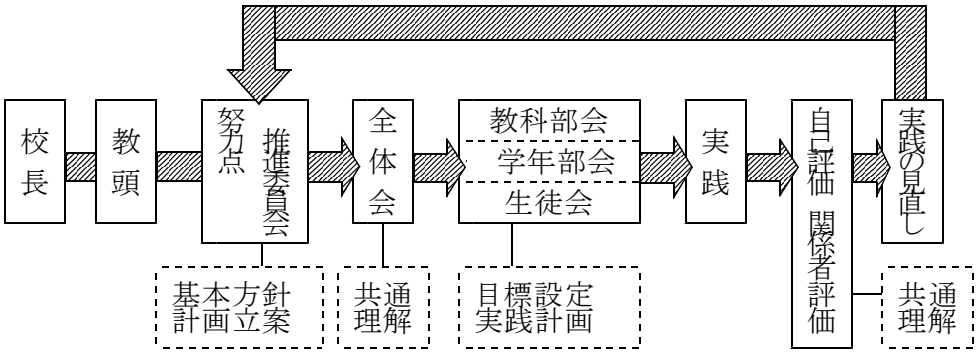
・　PTA役員、評議員による自己評価に対する評価を行う。

③　公表

・　自己評価について、HPを通して公表する。

（４）　努力点推進計画

○　組　織



○　年間計画

以下の表の年間計画に基づき、努力点の達成を目指し教育活動を推進する。

表　努力点推進についての年間計画

実施月	内　　容
４月	学年目標・教科目標・年間計画の決定
５月～７月	実践　授業研究
９月	努力点の中間のまとめ
10月～12月	実践
１月～２月	努力点のまとめ・評価　実践の見直し